



校報

# けむやま

矢巾町立煙山小学校  
H29.6.5(月) 第4号  
紫波郡矢巾町北矢幅 1-2  
Tel.697-3163

## 輝動会

輝き動いた煙小運動会  
～仲間と共に最高の瞬間を～

高め合おう  
礼節を重んじ美しく

煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

これから、運動会をはじめます。  
【1年生の開会のことば】

閉会式。喜びに湧く赤組。悔し涙をかみ締める白組。

「もう一回開会式からやり直したい！」

白組のある6年生女子児童が担任に漏らしたそうです。それほど悔しかったのでしょうか。

この言葉には大きな意味と価値があるように思います。

出し尽くしたからこそ

の言葉。

勝利の喜びによってもたらさせることの自信は次への意欲につながります。

それに対して、負けることはどうでしょう。それによって味わう悔しさ屈辱感は、大きく深いほどそれにじっと耐えて心が癒えるまでには時間が必要です。実はこの悔しさの深さと時間の経過によって培われる復元力が人を強く逞しく育てていきます。

古人いわく、「よく負けるものが明日の勝利者となり得る」と。

よく負けるとは、悔いなく戦い、その結果に向き合い、それを次の行動にいかしていくこと。このことを通して、心の根が深く広がっていきます。

ヒマワリで例えるならば、勝者の光と敗者の強い根っこが大きな花を咲かせるように、

煙山小学校も相手を敬い称える勝者と果敢に立ち上がる敗者とが互いに高め合い、豊かで逞しい学校になってほしいと願っています。

「**赤心**」とはまごころ、思いやり。「**清白**」(せい

はく)」とは汚れのない真っ直ぐな心。「清白赤心」。今回の運動会を通して、赤白が競い合う中で紡いだ杖言葉(つえことば…生きていく上でのより所となることば)は今年のリーダーである

6年生の財産として記憶していきたいものだと思います。

保護者の皆様、ご来賓・地域の皆様、最後までご声援いただき本当にありがとうございました。皆様のご支援ご協力により、こんなに素晴らしい運動会に出会えたことに心から感謝申し上げます。

白組団長 ○○○○  
赤組団長 ○○○○



煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

高学年、最強リレー！  
負けないぞ！  
負けるものか！

### 仕事をください！

今年の子供たちは働き者です。

- ・運動会の準備作業に「仕事をください！」と声をかけてくる高学年の子供たち。
- ・花壇の草取りをしていると「手伝います」といって助けてくれる6年生のNさんやMさん。それにならって、低学年も一緒にやってくれました。( #^.# )

## 米という字を分析すれば 八十八度の手がかかる

5月16日に**田植え**が行われました。

5年生の担任団が、朝6時前に学校近くの田んぼに集結。事前に「まね」を引く（たんぼに四角く線をひくこと）作業を行いました。

5時間目、JA矢巾地域営農センター、保護者の皆様のご指導、ご支援のもと、5年生全員が裸足で田んぼに突入？。

ほとんどが初体験。

「きゃ～！、お～！」子供たちの喚声が田園にこだまします。

煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

見よ！このどろんこ手足！  
かせいだぞ～～！



### スマホ、ゲーム

…はやっぱり危険。

先日、教振の研修会で岩手大の吉田智子先生がデータをもとに強く訴えていました。

学力・体力・気力に悪影響！かわいい子供の将来を本気で考えるなら、「スマホ、ゲーム…」は手元から遠ざけましょう！

## 【特別支援教育 NOW】 2 ～合理的配慮～

今、特別支援教育が学校教育改革を進める中で大きな位置をしめています。

平成28年12月に中央教育審議会で、「幼稚園・小・中・高・特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」と題する答申が取りまとめられました。

その中で、「教育課程全体を通じたインクルーシブ教育システムの構築を目指す特別支援教育」という項目が立てられています。

その項目の中に、「**合理的配慮**」という聞きなれない言葉が使われています。

子供たちの自立と社会参加を進めていくにあたり、**障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組みを創り上げていくこと**を目的とし、障がいのある児童及び保護者に対して、その願いを実現するための学びの環境を創出するために、学校と行政がそれぞれの立場でその役割を果たしていくこと、その**配慮義務のことを合理的配慮**といいます。

難しいことを言いましたが、今回の運動会でも合理的配慮があります。ひまわり学級4組の子供たちが球入れ競技をしました。低い高さの球入れのかごが一つ加わりました。こういう（この子達にとっての合理的な）配慮事項を通して、共に学ぶ場を工夫して創り上げていくということです。

これは、特別支援学級だけではありません。通常学級でも、**個に応じた配慮事項**が必要です。次回は、その具体的な例を挙げてご説明いたします。

でしよ！

運動会はなんととってもお昼のお弁当。◆一年生の日記に、「『おいしいね』といったら、お母さんが『でしよ！』と言いました。」とありました。◆お母さんは何時に起きて作ったのでしょうか。◆土曜日の朝五時過ぎに校庭の様子を見に来ると、雨の中で場所取りをしているお父さんに会いました。◆「今日はどうですかね？」とお父さん。「かなり厳しいですね。」と私。「うちでは、もう弁当を作ってしまった。」とお父さん。◆「お母さんは明日また準備が大変ですね。」と私。「でも、今日も豪華なお昼を食べられるからいいとしましょ。」とお父さんの笑顔。◆なるほど、無駄になるのではなく、お母さんの愛情を二回も味わえると思うと、それもまたよし。◆早起きし、手間隙かけた特製弁当。二回も作ったのなら、愛情も二倍。◆だから、おいしいん「でしよ！」